

平成 28 年度 学校評価報告書

幼稚園名 深谷市立藤沢幼稚園

園長名 浅見 哲也 印

1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

○幼稚園の教育目標とそれに基づく教育活動の運営状況について評価し、園運営の改善を図る。

○重点目標の達成度の評価を中心に捉えるなど項目の精選を図り、今後のより良い教育活動の参考とするため、在園児の保護者を対象に実施する。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価、回数、方法等)

自己評価面談、園長講話(研修)・職員会議等において、取組や方針等の検討をする。

① 保護者アンケートの実施 年 1 回

② 学級経営の評価

・保護者への行事後のアンケートの実施や学級懇談会での意見交換、感想等の発表により評価を実施する。

・日案、月案を通しての反省評価と巡回相談等での改善。

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

【保護者アンケート調査】

○教育目標について

・「その場に応じたあいさつをしている」は評価Aが41%、Bが59%であった。登降園時のあいさつは毎日元気にできるが、その場に応じたあいさつとなると、まだ指導が不十分である。場に応じたあいさつができるような指導をしていく。

・「早寝・早起きができて、朝食を欠かさず摂っている。」はA評価が82%で、B評価が16%である。合計98%の園児に習慣が身につく。また、「人に頼らず自分で解決しようとしている姿」では、B評価が55.2%である。園児たちに自信を持たせるような活動や支援を計画的に行うことが重要である。

○幼稚園教育活動について

・⑦と⑨の項目の、「幼稚園の教育内容や活動がわかりやすく伝えられている、わかりやすい等」はA評価が93%～96%であった。さらに家庭と幼稚園の連携を図っていききたい。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

・園児一人一人の実態をさらに把握し、個々のニーズに応じた支援をしていく。

・A評価の低い項目について、さらなる指導の見直しと充実を図る。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

・今年度の評価・反省を踏まえ、内容の充実に努める。

・保護者の感想を次年度に生かし、家庭と連携し信頼される幼稚園づくりを行っていく。

・園児の成長には親教育の充実が欠かせない。「親の学習講座」や「園長講話」等を親子活動と共に充実させ実践を継続していく。